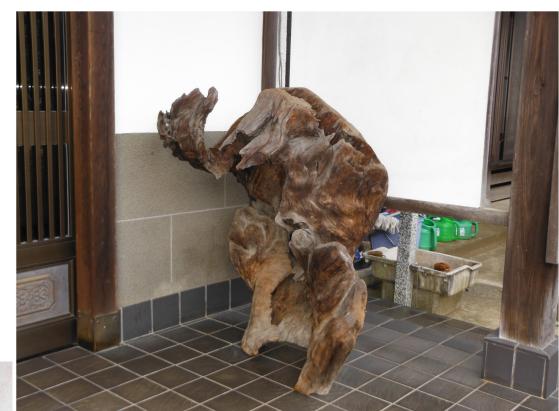


Q 4 明治期の近代化を象徴するものとして、レンガ造りの樋門が南畠には2箇所残されています。そのうち上南畠にある樋門の近くには看板による説明書きがあります。この看板の内容と実際の樋門とで正しいものはどれか?

- ①看板では山形樋管の説明が書いてあるのに、銘板には水越門樋とある
- ②看板では「市指定文化財」と書かれていませんが、実際には「市指定文化財」になっている
- ③看板ではレンガの積み方が「イギリス積み」と書かれているが、実際には「フランス積み」になっている
- ④看板ではこうした樋門は県内で数多く造られたと書いてあるのに、実際には珍しかった



Q 5 寺子屋の師匠(僧侶や修験者)が亡くなった際に、その恩に報いる目的で弟子たちが造立した石塔(左図)を筆子塚といいます。南畠公民館裏の旧薬師堂墓地の筆子塚は、旧東光寺住職の承覚法印のもので、塔には延宝4年(1676年)5月7日とあります。筆子(生徒)の名を刻んだものとしては県内最古といわれています。○か×か?



Q 6 上南畠の金蔵院には、樹齢500年以上の老木がありましたが、昭和32年に本堂の屋根を改築するために伐採されました。2枚の写真はその老木の根の一部ですが、何の根でしょう?

- | | |
|-------|------|
| ①クス | ②ケヤキ |
| ③イチョウ | ④スギ |



Q 7 右の写真は上南畠堂ヶ谷戸の「あたご様」ですが、ここには甲冑を着け、軍馬にまたがる姿の地蔵が祀られています。悪業煩惱の軍に打ち勝つ地蔵という意味を持ち、戦勝をもたらすものとして中世以降、武士からも信奉されていたそうです。この地蔵は何地蔵と呼ばれていたでしょうか?

- | | |
|-------|-------|
| ①勝軍地蔵 | ②軍神地蔵 |
| ③不敗地蔵 | ④戦勝地蔵 |



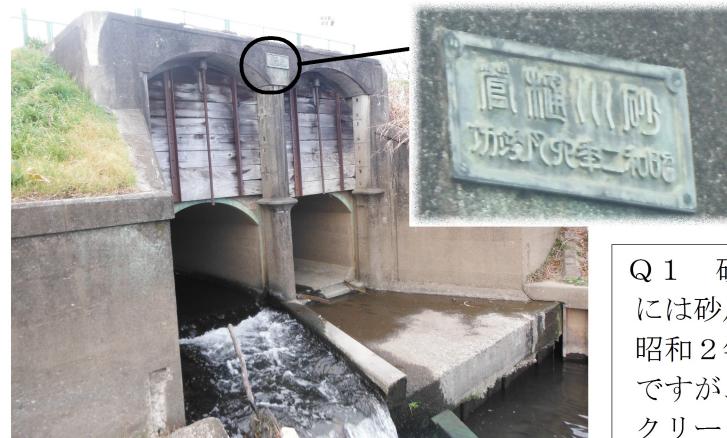
クイズに答えて 南畠探検 ~第2町会編~



南畠探検

～第2町会編～

※クイズは「郷土富士見検定問題集」を基に考えました。答えは4、5ページの一番下です。



Q 1 砂川堀が新河岸川に合流する地点には砂川樋管があります。この樋管は、昭和2年(1927年)に築造されたものですが、新河岸川改修時に造られたコンクリート製の構造物で現存するものはこの樋管だけである。○か×か?



Q 2 新河岸川の土手を歩いていると梨畠が見える。南畠地域で最も多い銘柄は次のうちどれか?

- ①豊水、長十郎
- ②豊水、彩玉
- ③幸水、彩玉
- ④幸水、豊水

※4月上～中旬には梨の花が咲きますので、出かけてみてはいかがでしょうか。



Q 3 上南畠の南中集会所の傍らに下中稻荷(旧源八稻荷)があります。この辺りは自然堤防上ですが、文化年間(1804～1818年)にさらに盛り土をして家畜の避難所を作ったといわれています。何の避難所と呼ばれていたでしょうか?

- ①牛の避難所
- ②鶏の避難所
- ③馬の避難所
- ④豚の避難所

富士見市には、「知つて、好きになつて、元気になろう 郷土富士見検定」というものがあります。そこで、南畠にまつわる検定問題のうち、今回は第二町会に関する問題を特集しました。日頃、私たちが住んでいても知らないことがたくさんあります。ぜひ、皆さんもチャレンジしてみてはいかがでしょうか?